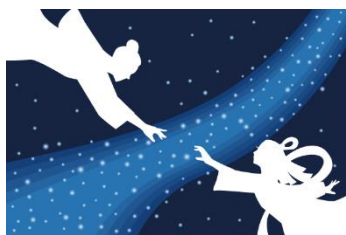


今日は「七夕(たなばた)」…星に願いを…



7 月 7 日は、夜の天空に輝く無数の星の中で、琴座のベガと鷲座のアルタイルが天の川をはさんでもっとも美しく輝く日とされ、そこから織姫と彦星のロマンスのストーリーが生まれました。そして、この日、古代より神聖なものとして考えられてきた笹に人々は願いを書いて捧げることでその願いが叶うと信じられてきました。

時は流れて現代の都会。一夜空は地上の街の喧騒にあふれる多くの灯りで、本来は限りなくたくさんの輝く星とミルキーウェイとも呼ばれるまるでミルクを夜空に流した川のように美しく輝く無数の星の集まりも肉眼ではほとんど見る事ができないのです。

しかし、ロマンスのストーリーと笹に願いを捧げる風習は今でも残り、子ども園や小学校、福祉施設などでは皆が思い思いの願いを短冊に書いています。そして、本校でも 1 年生が思い思いの願いを短冊に書いて笹に捧げました。(ちなみに、今年の笹は学校のご近所にお住まいの方のご好意でいただいたものです。笹をいただくために私がいきましたが、雨が降っているからと本校の保護者の方がわざわざ大きな車をだしていただきました。感謝!!)

1 年生の教室の前にたててある笹に書いてある願いを見てみると…「おかしやさんになりたい」、「おうじさまになりたい」など「子どもらしい」素朴な夢のある願いがある反面、今の時代やメディアの情報に捉えた「プロ棋士になりたい」といったものまで様々です。

「夢」をもつことは一見簡単なことのように思いますが、いざ「あなたの夢は？」と訊かれるとなかなか答えにくいものです。これは、年齢が上がるほどその傾向は強くなるようです。昨年度、「キャリアプロジェクト」と名付けた高学年対象の「キャリア教育」を実施しました。これは子どもたちに「10 年後の自分の未来の姿」を考えさせることが目的でした。そのために、「100 の仕事」を考えさせたり、「新しく仕事をつくる(起業)」ことを考えさせたり、世界で今起こっている様々な課題、問題を提起したり、そして、子どもたちがだしてきた「100 の仕事」の中から 10 人の実際今活躍されている「プロの仕事家」の人に来てもらい、その仕事の話と実習を含む講座を子どもたちは少人数にわかれて受けました。最後に、本校の卒業生で、現在は早稲田大学の教育学を専攻している先輩に来てもらい、「将来」について考え始めたきっかけ…のようなことを話してもらう機会をもちました。この先輩は、実は中学から高校(専門学校)へいったん進学したあと、あるきっかけでそこを辞め、通信制の高校へ再度入学してそのあと目的をもつことができ、一生懸命勉強して早稲田大学へ入学されたという経歴の持ち主です。自分たちの直接の先輩からこのような話を聴くことなどめったにないことです。



「キャリアプロジェクト」の様々な講座を受けたあと最後に聴いたこの話はきっと卒業した子どもたちの心に残っていると思います。そして、自分が将来を考え始めたとき、キャリアプロジェクトのことは子どもたちの心の支えになると信じています。さて、今日、七夕に何を願いましょうか?…(お天気はあいにくですが心が晴れていればいいです) その願いがきっとかないますように!…When you wish upon a star(星に願いを…)

☆☆☆AAE活動犬 レイ君の一日 その④



昨日は、晩 7 時から P T A 運営委員会がありました。レイ君は昨日も朝から登校して「お仕事」(要は学校にきて、子どもたちに囲まれていっぱい撫でてもらったり話しかけてもらうことですが…)に励んでいました。午後からは個人懇談でしたが、そのあと P T A の運営委員会があり、そこで初めて P T A の運営委員の保護者の方たちとお会いできました。たくさんの人が校長室に集まってきてレイ君のテンションもあがり(たくさんの人に会えるのは大好きです)会議の最中にもマイペースでそれぞれの運営委員さんのところへ行って彼なりに挨拶をしていました。

しかし、朝 4 時すぎに起きて、昼間は子どもたち相手に「お仕事」をして普段の昼の眠りもなく晩までできましたから、さすがに会議の最後には私の足元で「爆睡」して帰りの車の中でも家につくまでずっと眠っていました。

帰ってからあつという間に寝てしまいましたが、何やら寝言(犬も寝言のようなことを睡眠中言います)を言っていました。きっと充実した一日を振り返っていたのでしょう。…(翌日(つまり今日七夕の日)は疲れているかと思いきや、朝になるとすっかり元気できっちり私と一緒に今日も登校しました。

To be continued (次号に続きます)